

第20回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

8月14日

グループリーグ2回戦	天候	雨時々曇	風	無	ピッチの状態	芝良好
	気温	26℃	湿度	85%		

コンサドーレ札幌ユース（U-15）1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 名古屋フットボールクラブ
（東海3）

得点者 安藤 48分

得点者 分

システム

4-5-1

システム

3-5-2

第1戦で痛い引き分けに終わったコンサドーレ、今日の相手は名古屋FC。この大会も含め、高円宮杯でも同グループになることが多い、因縁の対決となった。名古屋FCは昨日の第1戦でジュフ千葉・習志野に0-1の惜敗を喫しているので今日負けると予選リーグ敗退がほぼ決定するという大事な試合。100%勝ちに来る戦いが予想される。コンサドーレの先発は第1戦と同じGK安田DF大吉・加藤・熊澤・本間MF浦田・竹内・安藤・鶴野・古田FW玉岡の11人。ゲーム開始前にポツリポツリと降り始めた雨が、5分過ぎから本格的になってきた。試合開始30秒、早速コンサドーレに絶好のチャンスが訪れる。古田の放った強烈なシュートを名古屋GKが前に落とす。すかさず玉岡が飛び込むが得点とならず。鶴野のシュートもGKの正面。12分頃からDF熊澤、本間と続けざまにミスを連発、冷とする場面が生まれる。20分まではほぼ互角の戦い、コンサドーレにリズムが出てきたのはその後だった。中盤でパスをつなぎ、ゴール前にせまりコーナーキックを得る。しかしながら熊澤のヘディングはクロスバーを超える。26分左からのフリーキックは、古田がねらい澄ました低い弾道のボールを入れる。スリップしたボールはフリーの加藤へワントラップでシュートを打つが、名古屋DFにあたり先制を逃す。たて続けのコーナーキックも得点とはならない。前半はコンサドーレがやや優勢で終了。両チームともに選手交代なしで後半が始まる。42分名古屋のフリーキックを跳ね返した後、活動量豊富な安藤が左コーナーエリア付近でファウルをさそうも、古田のフリーキックはコンサドーレの平均身長を5CM上回る名古屋DFに跳ね返される。45分中盤でインターセプトした熊澤が、前線の玉岡へ絶好のパスを送る。シュートまではいくがフィニッシュが決まらない。均衡を破ったのは48分、名古屋FPのパスミスに安藤がワンタッチで振り向き、ペナルティエリアまで出ていた名古屋GKの頭上を通る、40メートルのライナーシュートを名古屋ゴールへ突き刺した。その後も名古屋オウンゴールかと思われるチャンスもあったが、追加点とは結びつかない。逆に51分、名古屋は左から攻め込み、グランダーのクロスに合わせようとするが、GK安田が足でピンチを防ぐ。コンサドーレは今大会に入って調子が上がらない古田に代わって打矢を投入。名古屋も2人の選手交代でなんとか流れをつかみたい。しかしコンサドーレは鶴野のロングシュート、安藤のシュートと攻め立てるがゴール前の詰めが甘く、追加点を奪えない。名古屋も必死に反撃を試みるが、決定力に欠ける。そしてタイムアップのホイッスルがなった。シュート数はコンサドーレ17本・名古屋4本と、ほぼ第1戦と同じ内容。しかしながら、昨日のゲームに比べ、少々苦戦したような感があるのは、フィニッシュの甘さだろう。この勝ち点3でほぼ予選リーグ突破が濃厚になったが、明日の第3戦に修正をして決勝トーナメントへ進んで欲しい。

戦評 加藤 孝俊